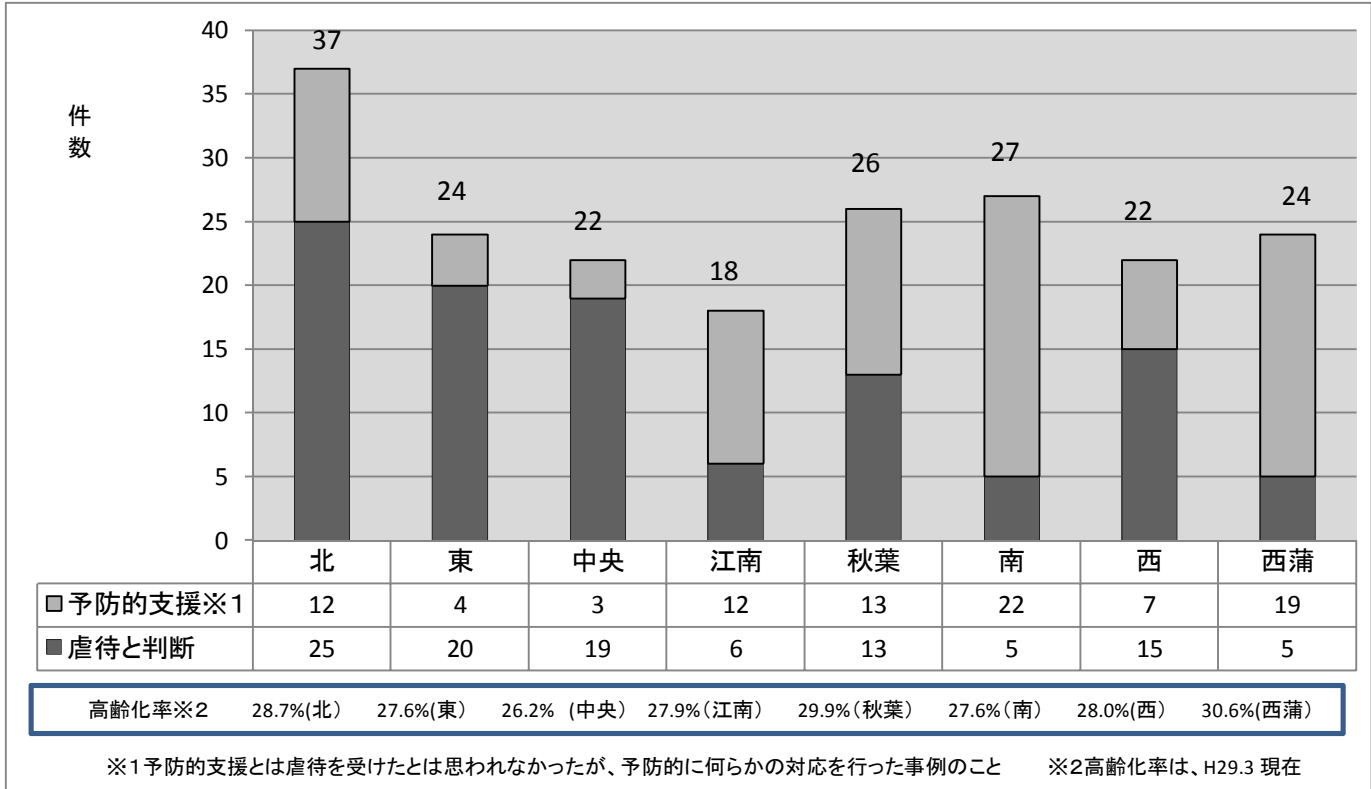


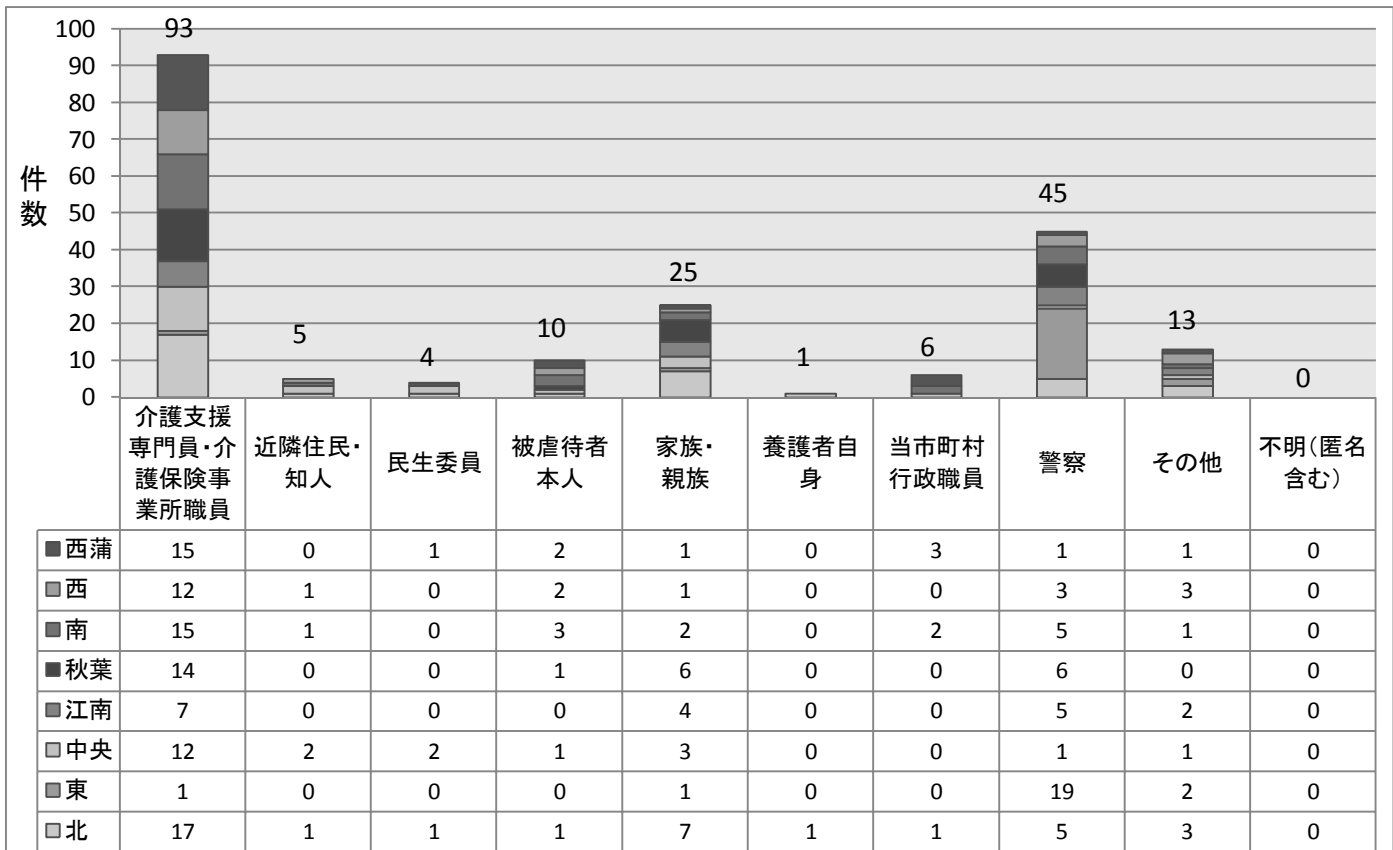
平成28年度
在宅の高齢者虐待に関する新潟市の状況(H29.3.31現在)

資料 1-2

①相談・通報件数及び事実確認の結果 ※前年度に事実確認を実施できず当該年度に実施した4件含む n=200



②虐待の相談・通報者(複数回答) n=202

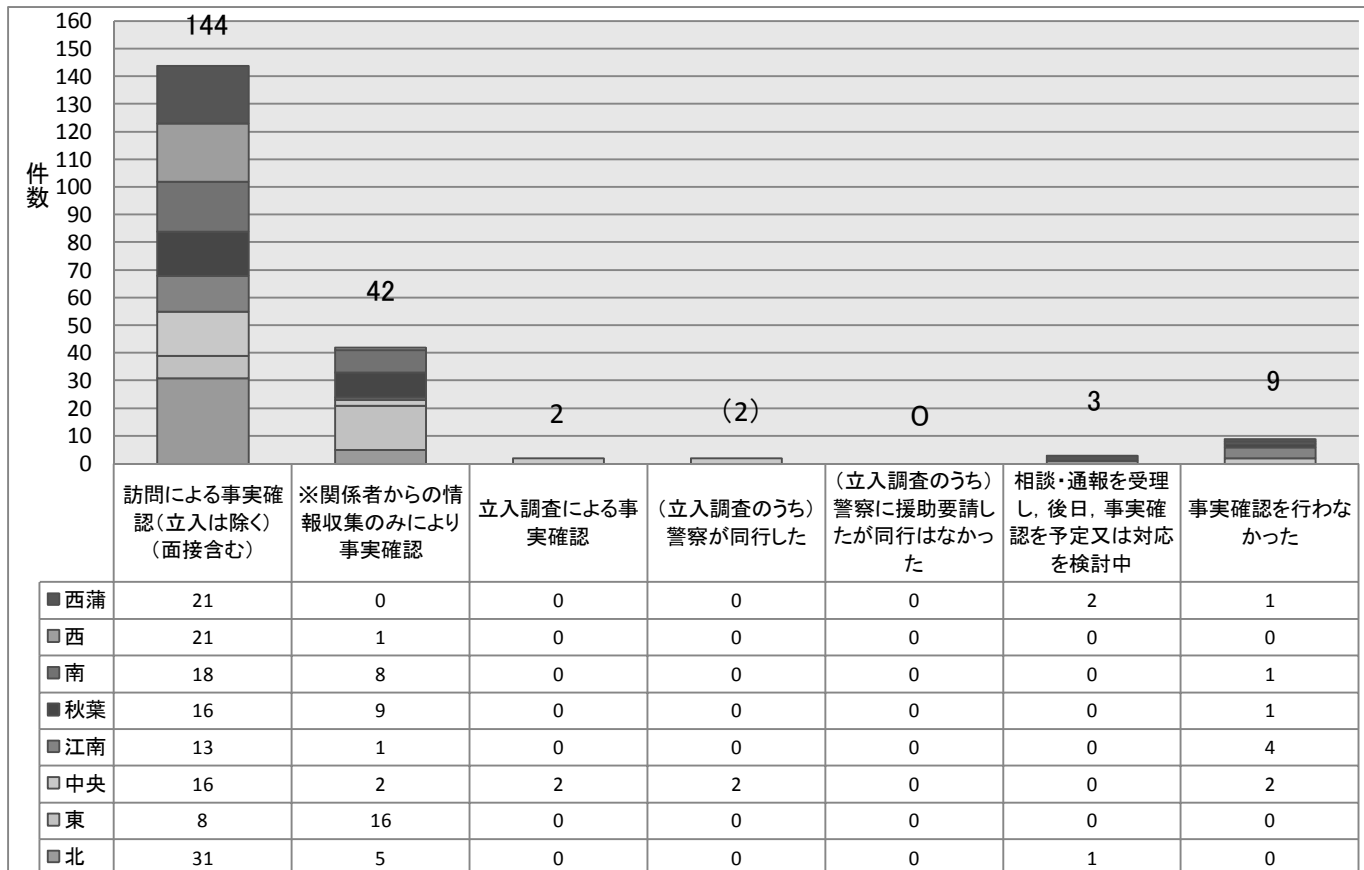


・介護支援専門員、介護職が46.0%と最も多く、次いで警察からの通報22.2%、家族、親族で12.3%となっている。
 ・その他・・・病院、ケースワーカー、障がい者施設関係者、地域包括支援センター、介護認定調査センター、学校 等

③事実確認の状況

n=200

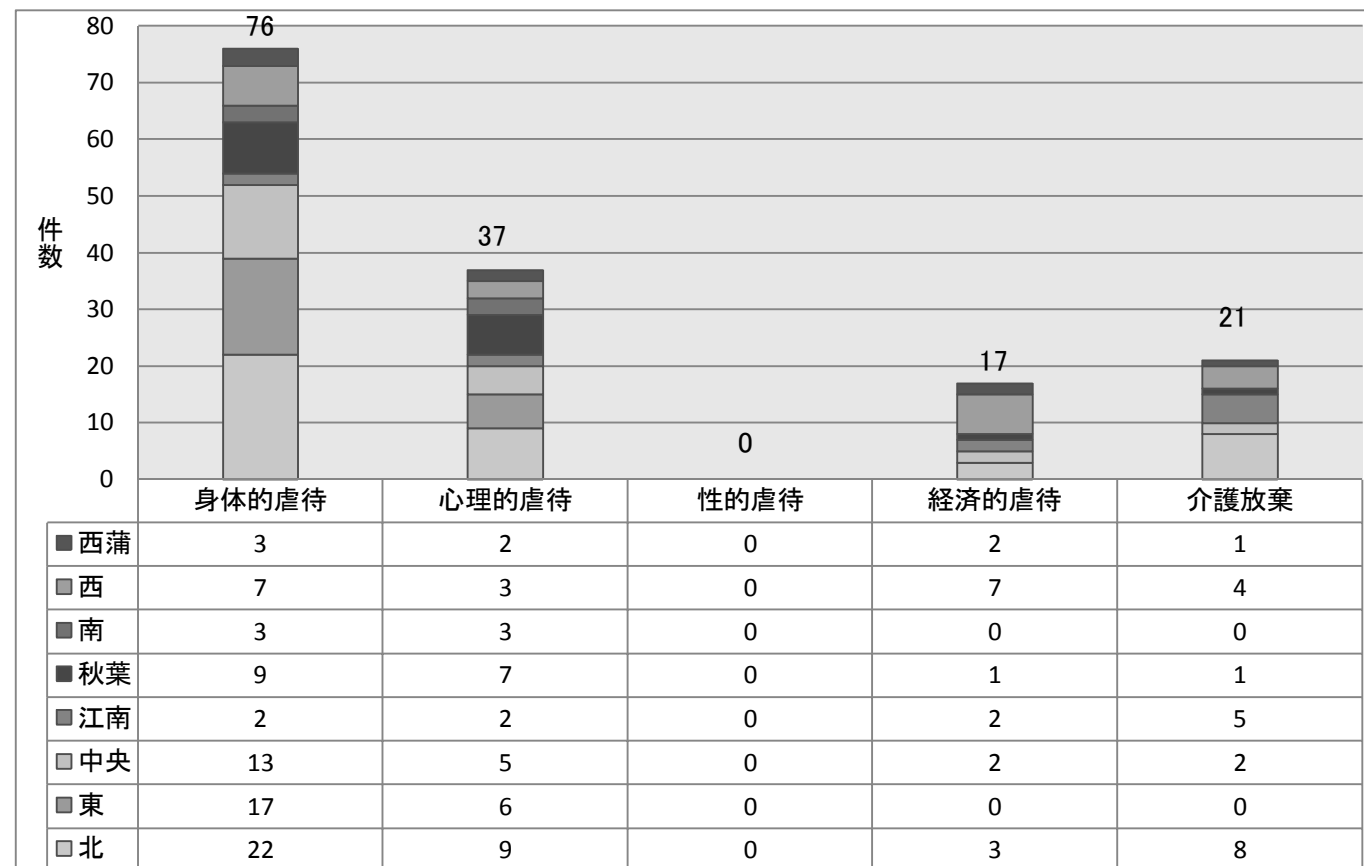
(事実確認を行った事例のうち、次年度に入って事実確認調査を行ったものも含むため合計件数は新規受付件数と一致しない)



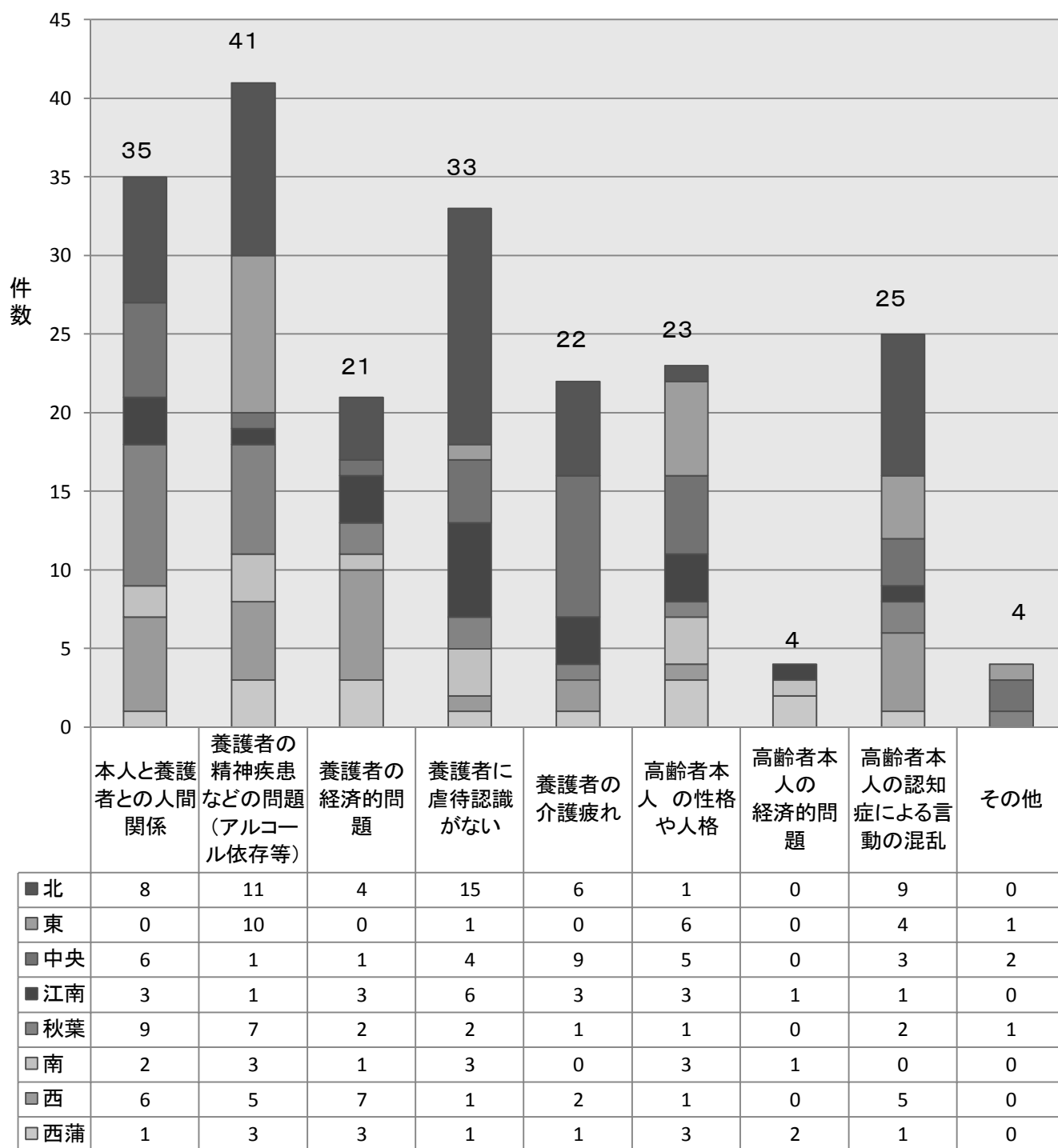
・事実確認を行ったうち、訪問によるものは77.4% ※関係者とは地域包括支援センター、医療機関、障がい施設職員等

④虐待種類の内訳(複数回答)

n=151



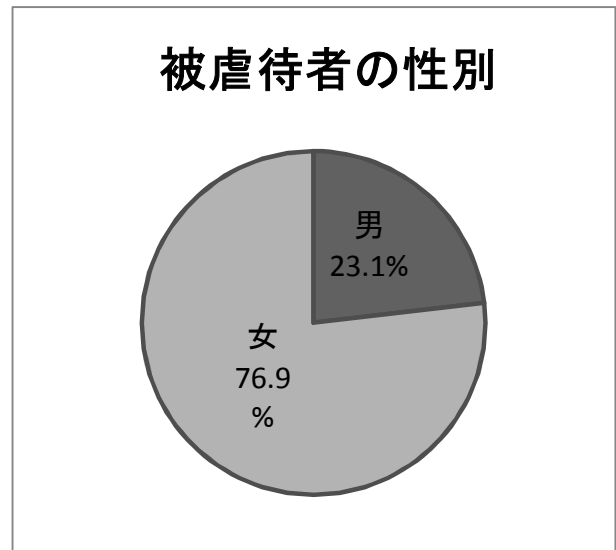
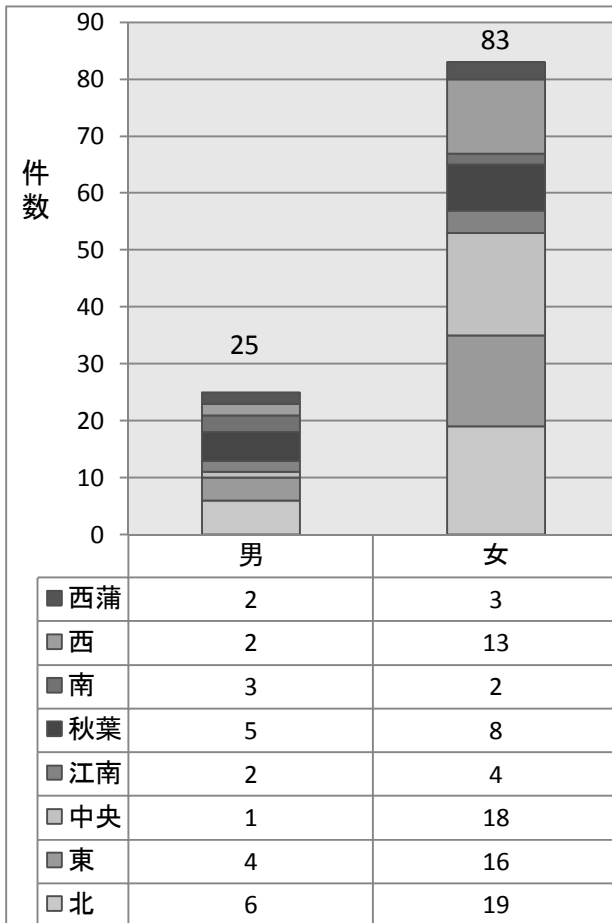
・身体的虐待が50.3%と最も多く、次いで心理的虐待が24.5%



・虐待に及ぶ一番多い理由は、虐待者の精神疾患などの問題で、19.7%を占める。次いで本人と虐待者との人間関係で16.8%。3番目の理由は虐待者に虐待の認識が無い15.9%であった。

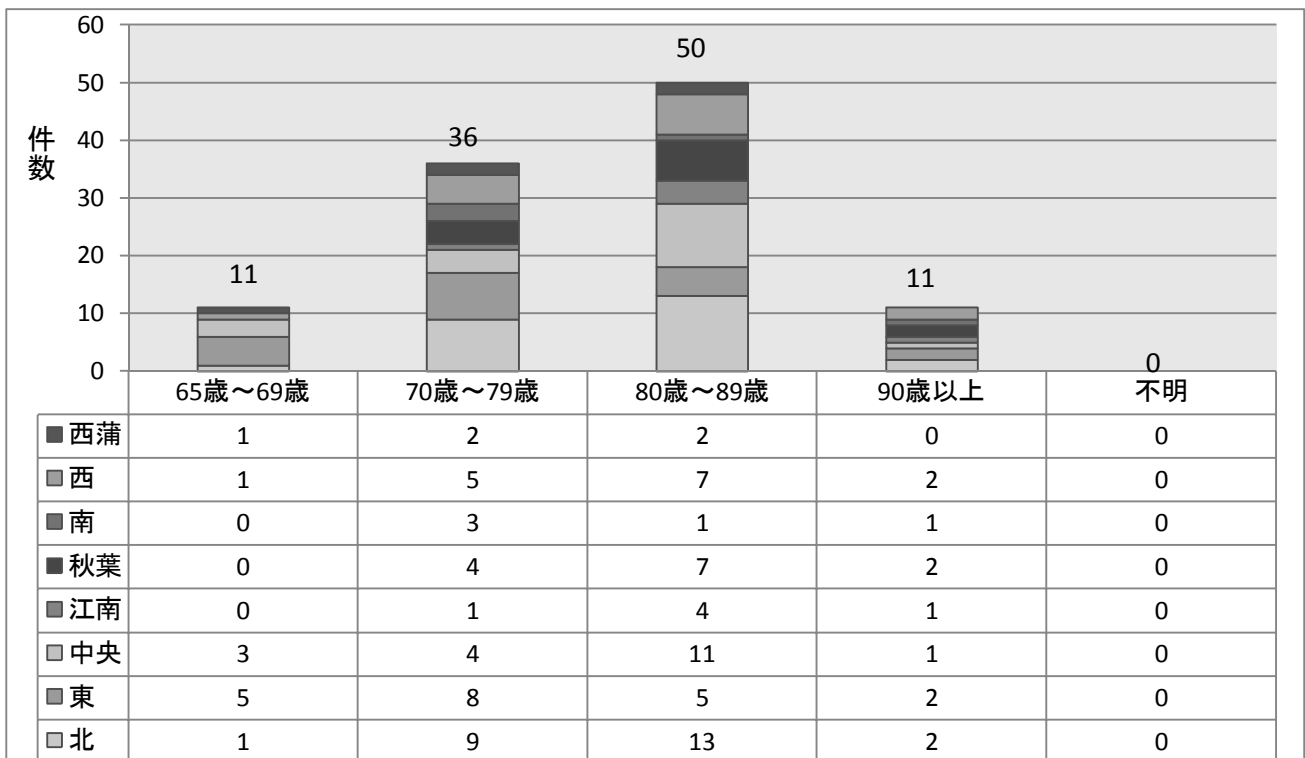
・その他・・・ 養護者の性格、本人の意欲低下、本人のうつ、アルコール依存など

⑥被虐待者の性別 n=108



⑦被虐待者の年齢

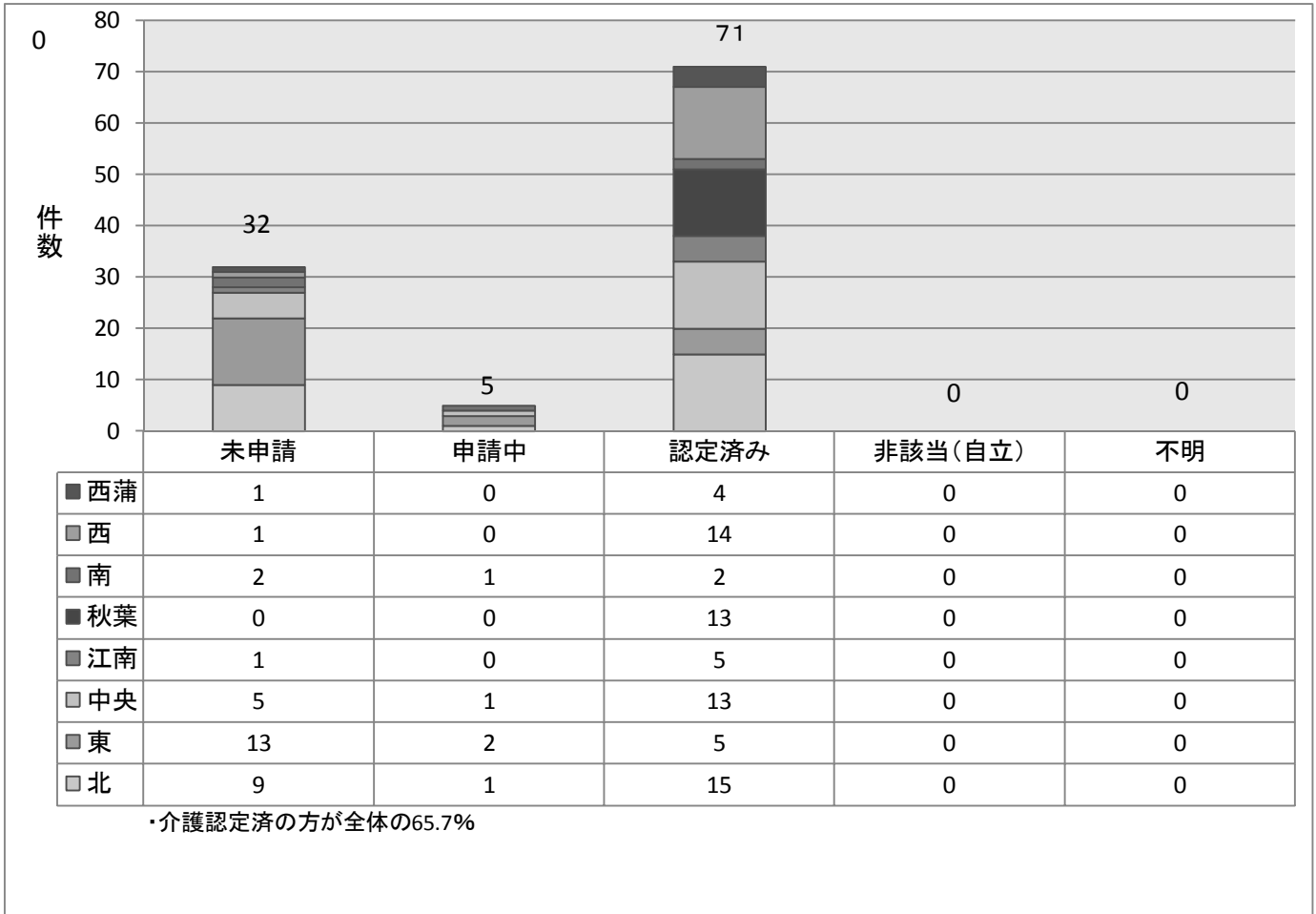
n=108



・80歳代が最も多く46.3% 次いで70歳代が33.3%

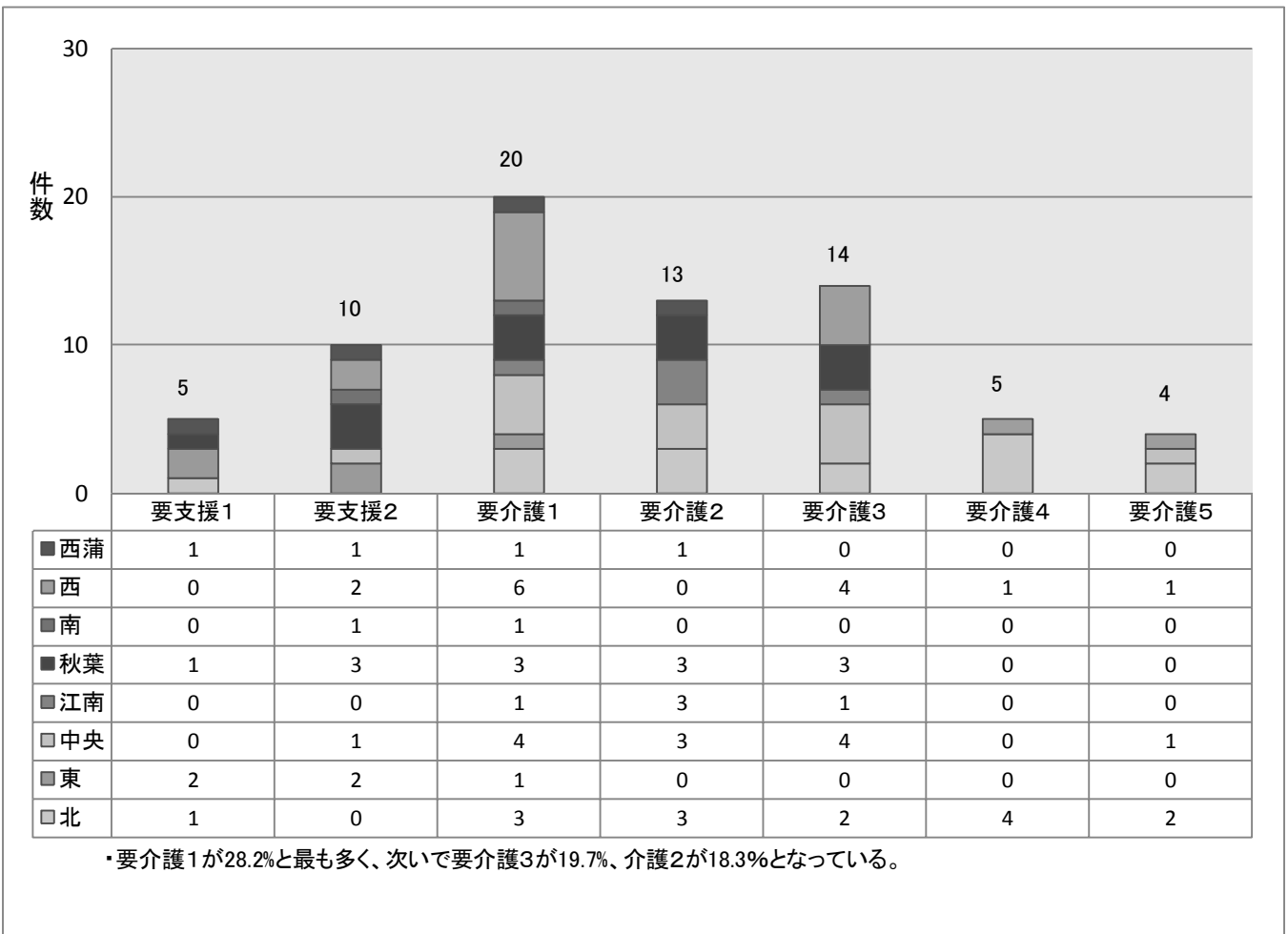
⑧被虐待者の介護認定の有無

n=108



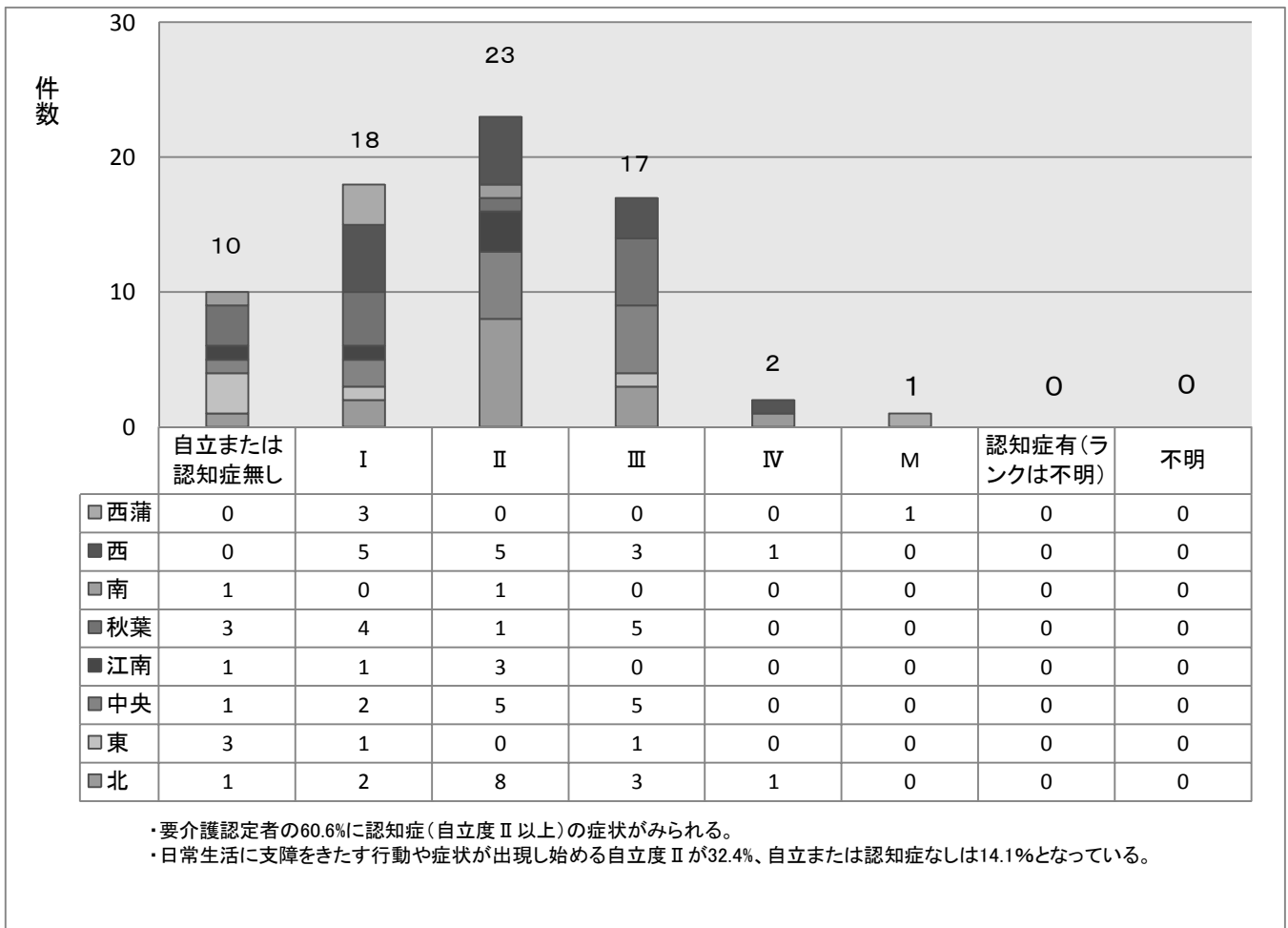
⑨被虐待者の要介護度

n=71



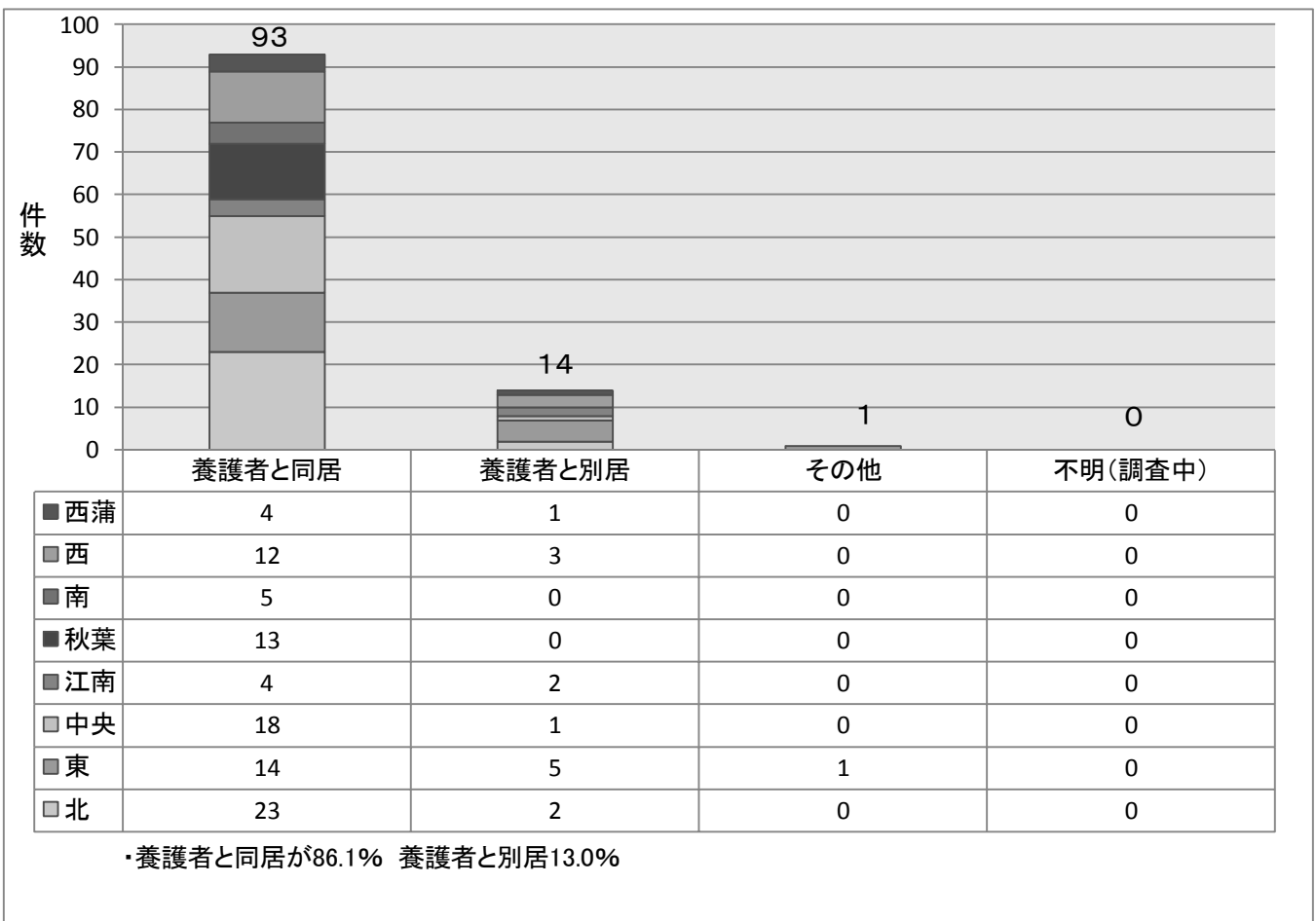
⑩被虐待者の認知症の有無

n=71



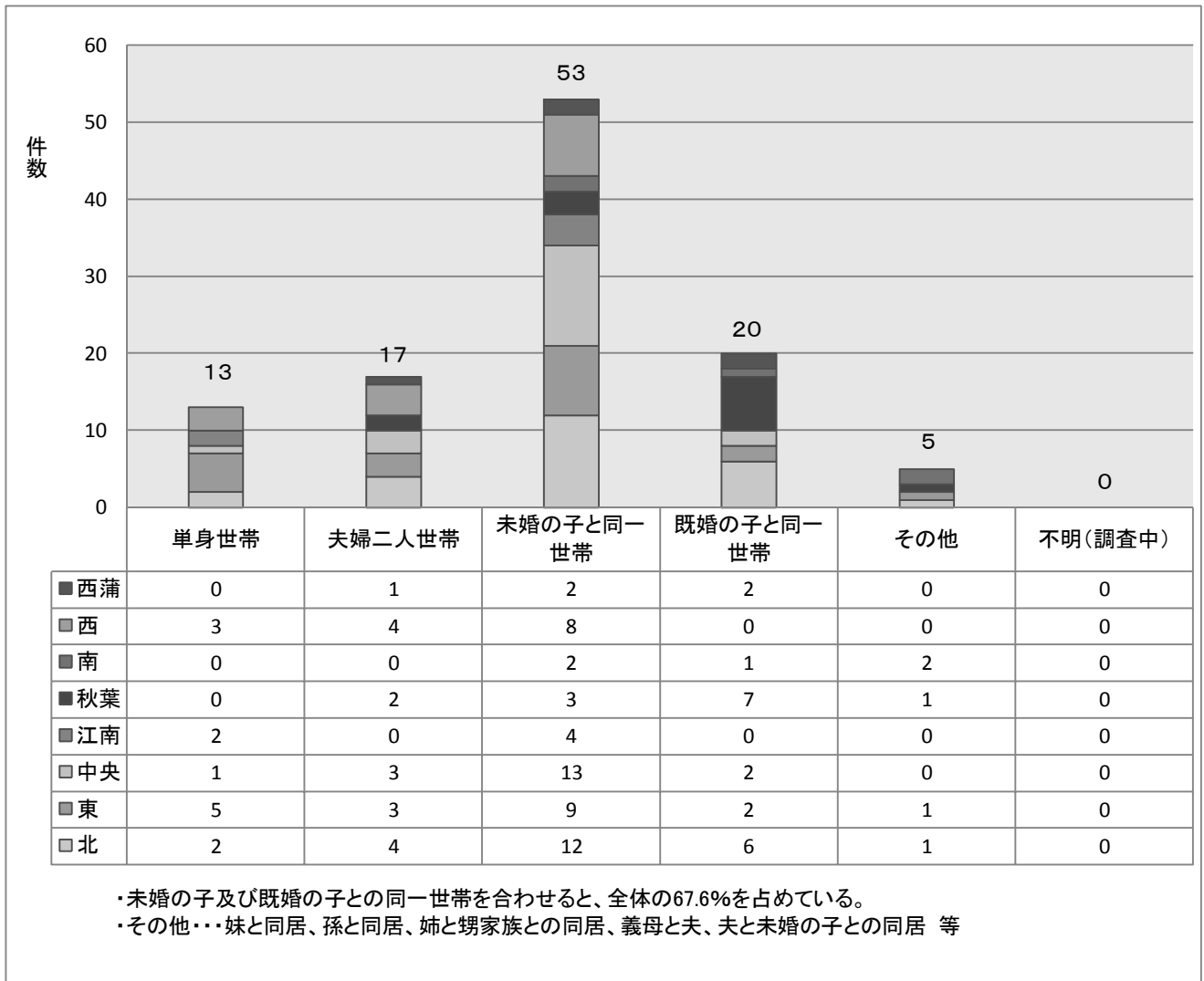
⑪虐待者との居住形態

n=108



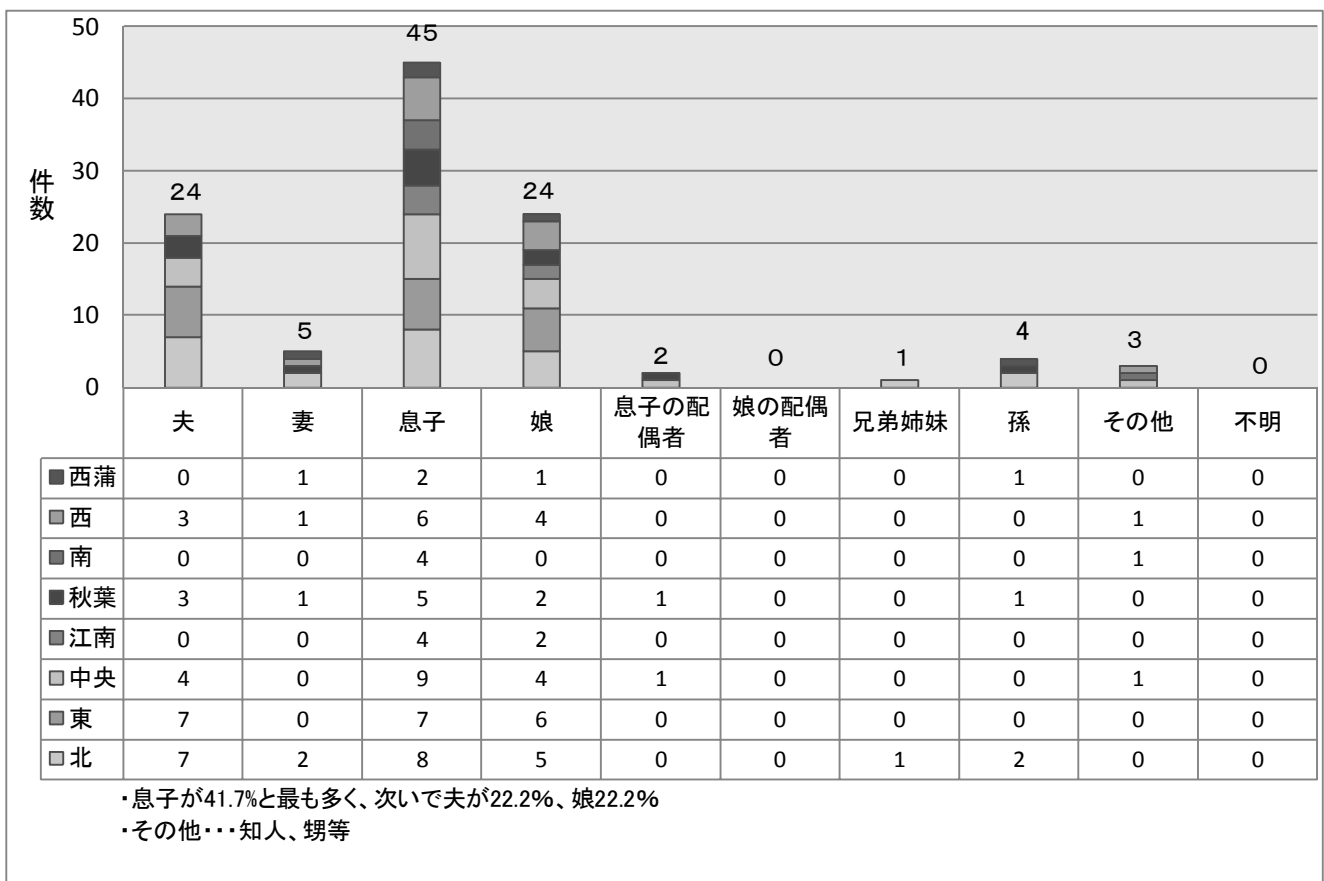
⑫世帯構成

n=108



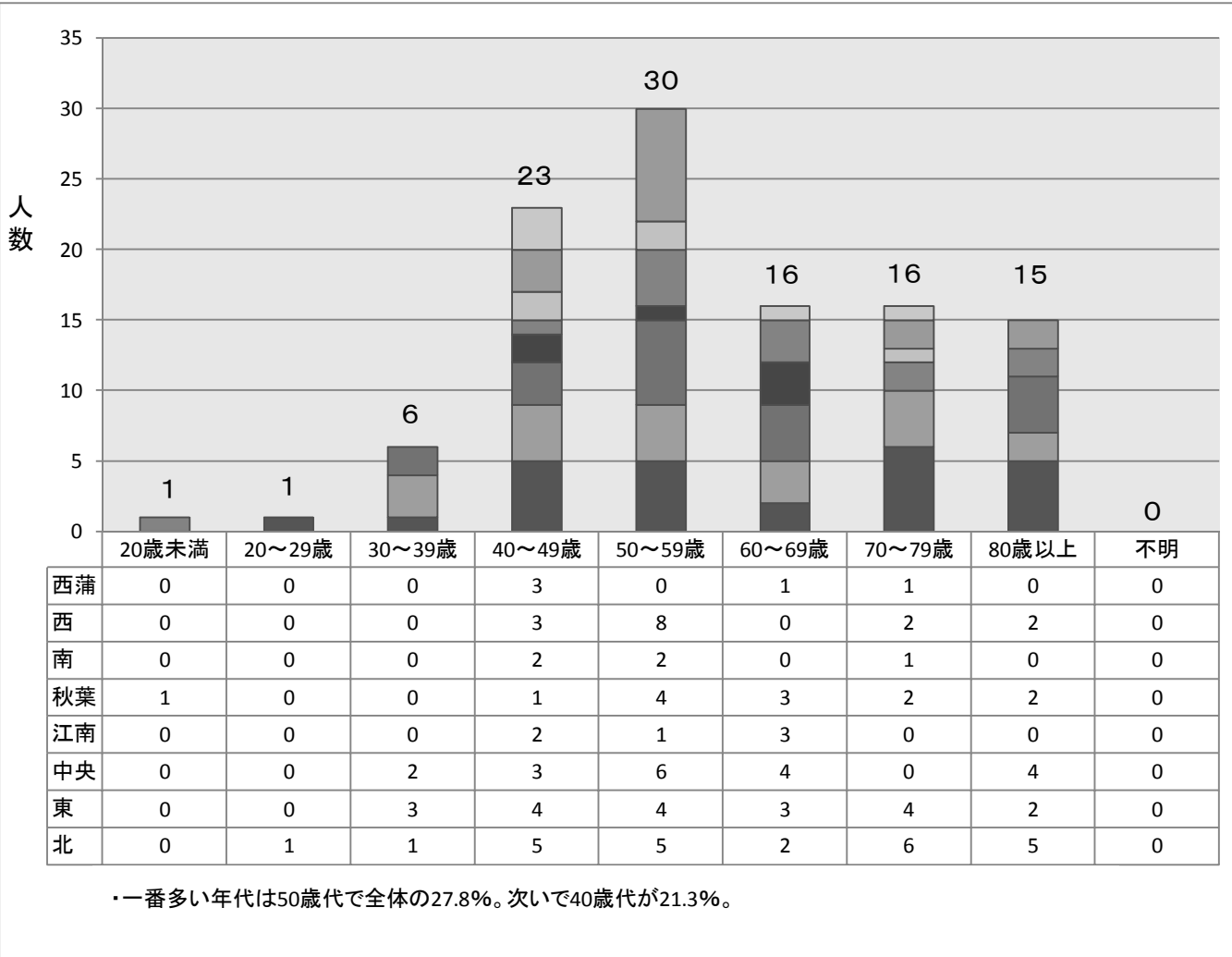
⑬養護者の続柄(複数回答)

n=108



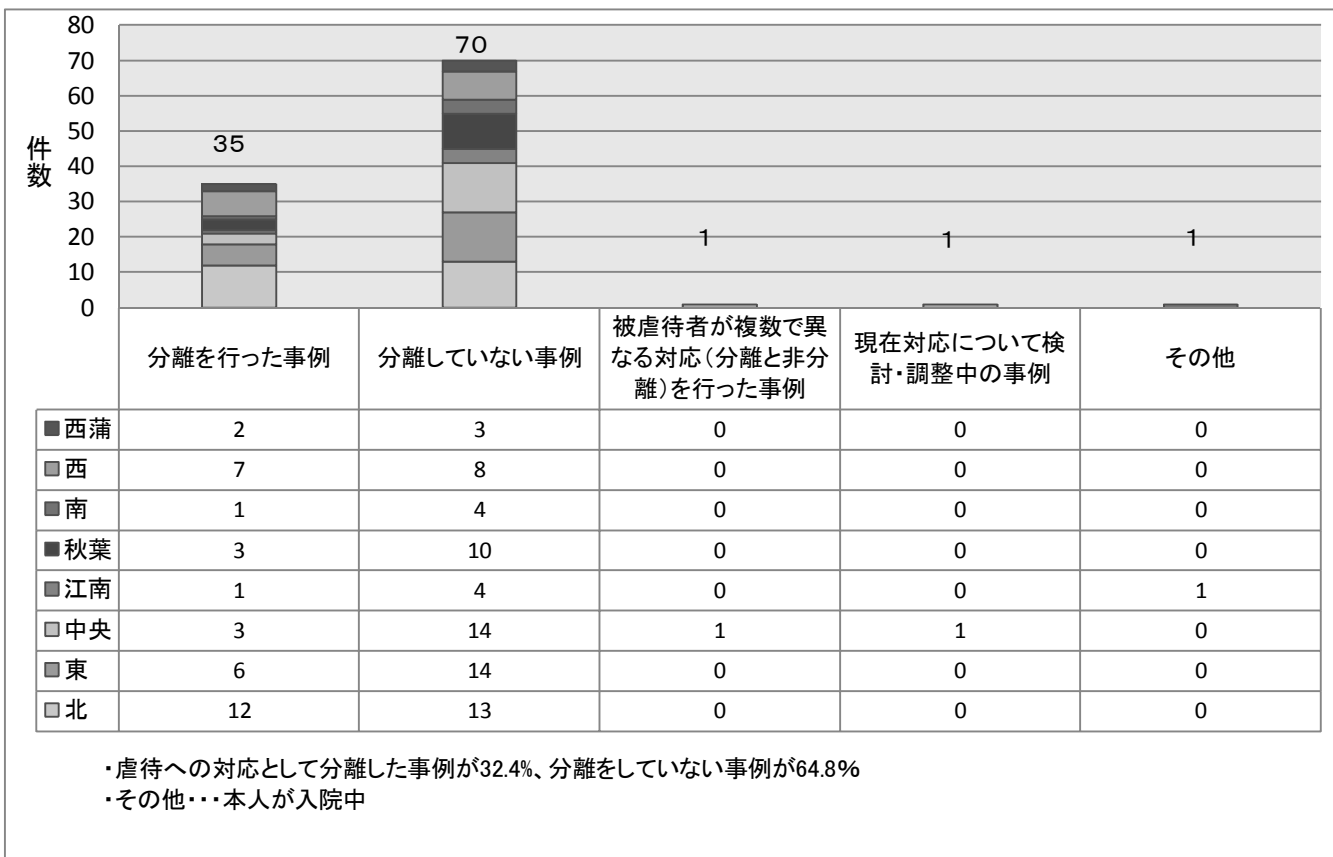
⑭ 養護者の年齢

n=108



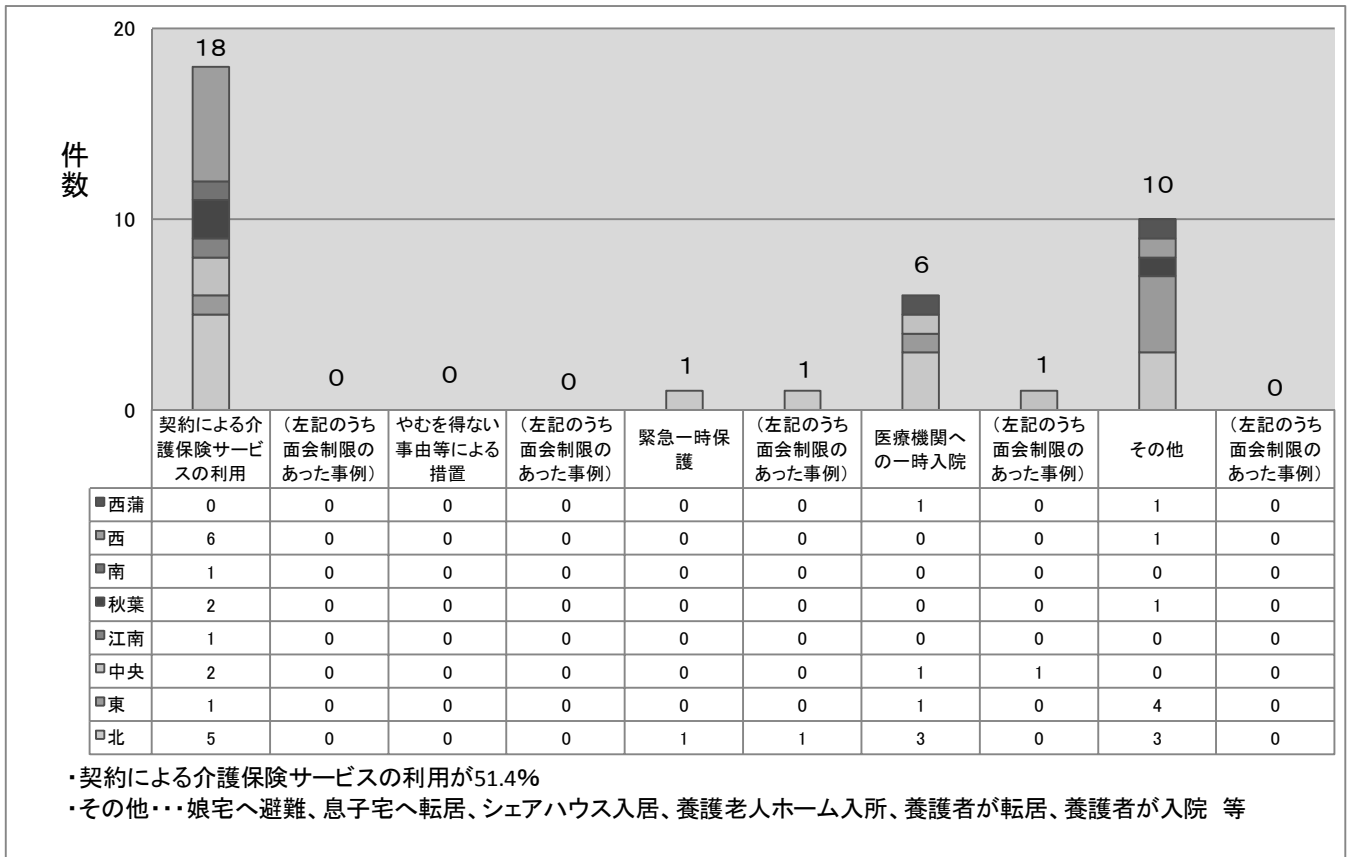
⑮ 養護者との分離の有無

n=108



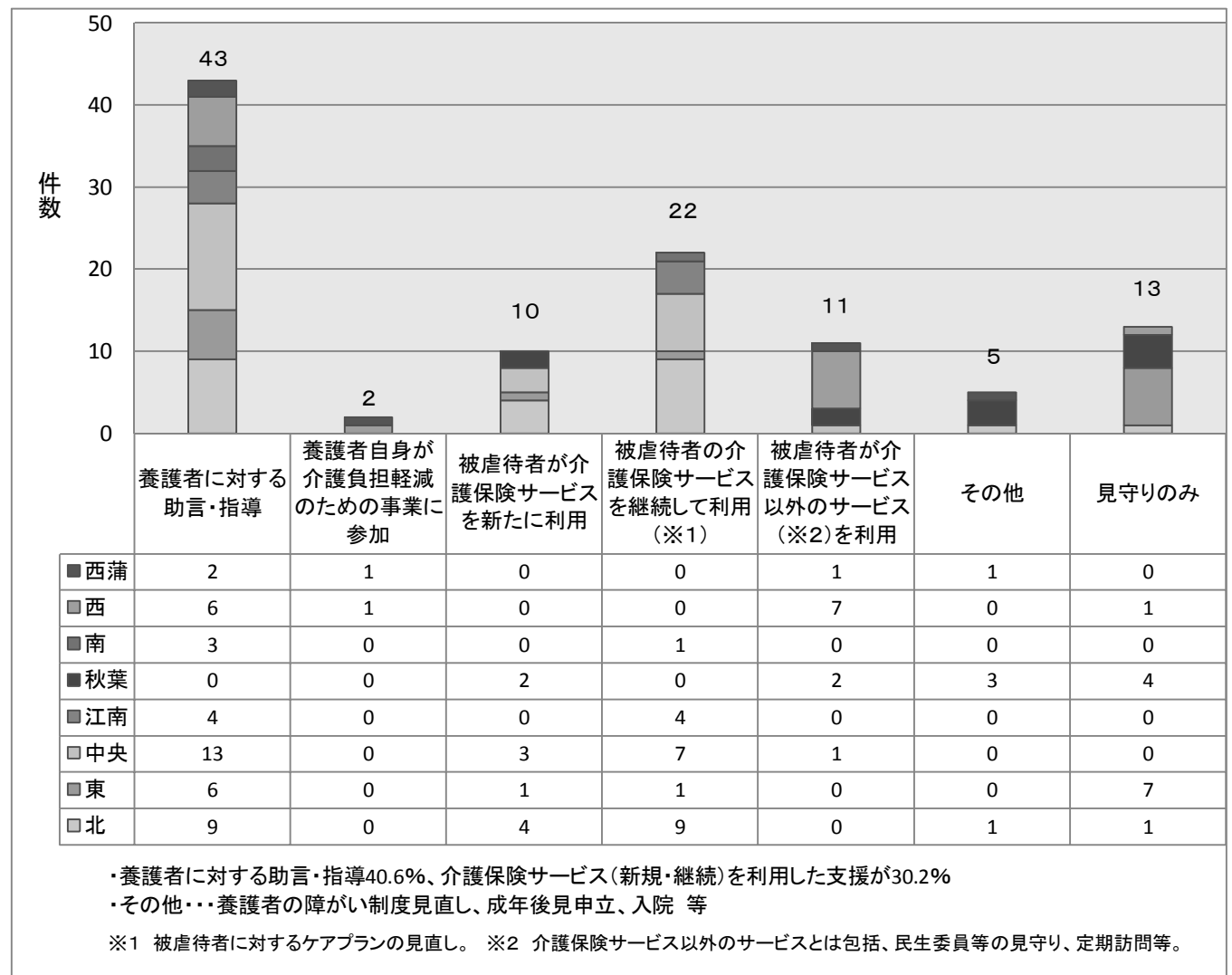
⑩分離を行った事例の対応の内訳

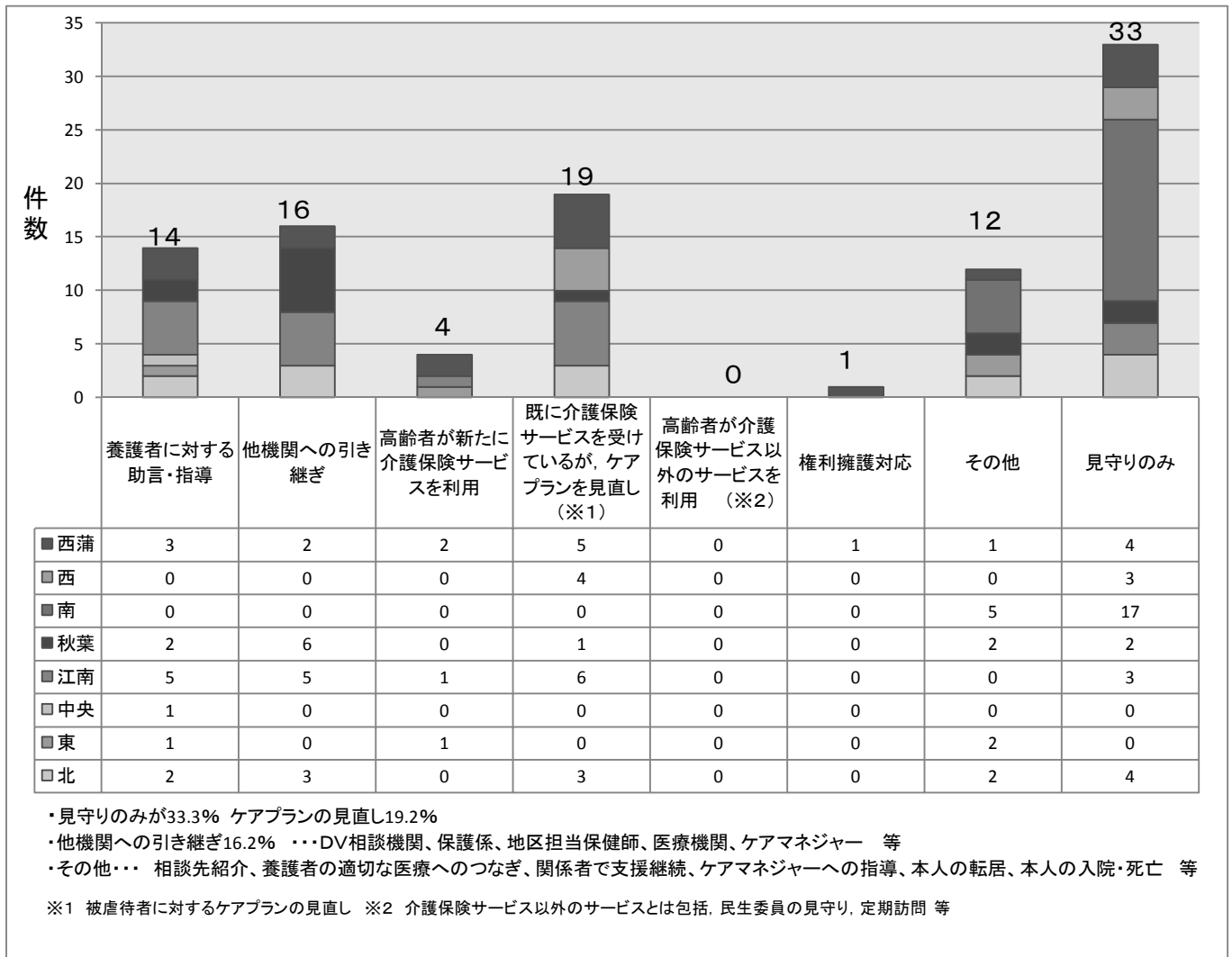
n=35



⑪分離していない事例の対応の内訳(見守りのみ以外複数回答)

n=106





⑲ 権利擁護に関する対応 (前年度以前からの継続ケースへの対応を含む)

